

オンリーカップ2021京都・滋賀オープンゴルフ選手権  
大会実行委員会

令和3年6月吉日

京都・滋賀オープンゴルフ選手権  
予選出場選手各位

一、日 時 令和3年7月7日（水）午前9時～  
一、場 所 甲賀カントリー倶楽部  
〒520-3221 滋賀県湖南市三雲3354  
0748（72）1221  
一、スタート時間及組合せ 別紙の通り  
一、指定練習日 特別に設けておりませんので各自でエントリー願います。  
但し京都・滋賀オープンゴルフ出場者である旨申し出て下さい。  
※エントリーしていない場合は、お断りする場合があります。

一、競技の条件

1. 競技規則  
日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技ローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定  
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄についてこの委員会の裁定
3. 競技終了  
本予選競技は、委員会の作成した順位表が掲示された時点を持って終了したものとみなす。
4. 競技の短縮  
委員会は、コースの状態が適性となるプレー不可能と判断したときは、競技の条件に定めてあるホール数を短縮することができる。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。ただし、現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他のホールに止まった球はアウトオブバウンズの球とみなす。
2. 修理地は青杭を立て、白線によってその縁を定める。
3. イエローペナルティーエリアは黄杭によってその縁を定める。
4. ジェネラルエリアにある排水溝はジェネラルエリアにある動かさない障害物とする。
5. 人工の表面をもつ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
6. 電磁誘導カート用の2本のレールは、2本のレールの全幅をもって1つのカート道路とみなす。
7. 特定の用具の使用制限
  - a. 『適合ドライバーヘッドリスト・ローカルルールひな型G-1』を適用する。
  - b. 『溝とパンチマークの仕様・ローカルルールひな型G-2』を適用する。
  - c. 『適合球リスト・ローカルルールひな型G-3』を適用する。
  - d. 『動力付き移動機器の乗車を認める』
  - e. 『ワンボールルール・ローカルルールひな型G-4』を京都・滋賀オープン選手権決勝のみ適用し、本競技においてはワンボール条件は適用しない。
  - f. 規則4.3a（1）の距離計測機器の使用のみを認める。

8. 規則10.3aは次のように修正される。プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。  
ローカルルールの違反の罰
  - ・プレーヤーはそうしたキャディーに援助してもらったその各ホールに対して一般の罰を受ける
  - ・違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。
9. 規則5.5bは次のように修正される。2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
  - ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
  - ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。
10. 規則5.2bは次のように修正される。プレーヤーはラウンド前にコース上で練習してはならない。
11. 危険な状況のためのプレーの中断は、1回の長いサイレンによって伝えられる。その他の全ての中断は、短いサイレンの繰り返しによって伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開は1回の長いサイレンによって伝えられる。（規則5.7b参照）
12. 修理地の白線で囲まれた区域とその区域につながられた動かさない障害物は、規則16.1に基づいて救済を受ける場合、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
13. 6番ホールのパッティンググリーン左側にある金網によって定められる区域はプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則16.1fに基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済を受けなければならない。

付則 予選通過は10名とする。但し10位タイの場合、マッチング方式にて10位を決定する。

注意事項

1. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。なお、部外者のコース内立入は禁止する。
2. 委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
3. プレーヤーまたはそのキャディーにエチケット違反、または重大な非行があった場合には、規則1.2aに基づいて失格とする場合がある。
4. 競技の条件またはローカルルールに追加、変更のあるときは、スタートに掲示して告示する。
5. 練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1箱を限度とする。
6. スタート時間5分前には、必ずティーイングエリア周辺に待機すること。
7. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意のこと。プレーの不当な遅延については、規則により罰せられる。
8. 当日欠席者が出た場合は、一部組合せを変更する場合がある。

予選競技委員長 鍛治民雄